

第53回(令和4年度)市村アイデア賞 応募用紙

* 応募された方の個人情報は、市村アイデア賞関係以外には使用致しません。

市村アイデア奨励賞

受付No. 00280

◎ 受付No.は、記入しないでください

アイデア名	アクリル投影板		
フリガナ	カワイ	ユウガ	
名前	河合 悠我		学年 中2
学校名	愛知	都・道・府(県)	刈谷
			(市)・区・町・村
	雁が音中学校 (通学している学校名を記入します)		
応募方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 学校から <input type="checkbox"/> 3. 個人で <input type="checkbox"/> 2. 発明クラブなどの団体 団体名()		

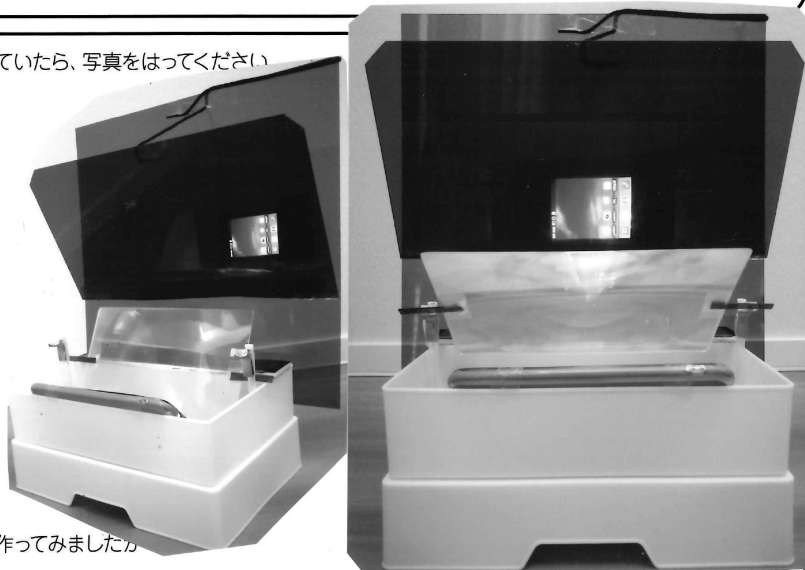
◎ここからは必ず自分で書きましょう。Bの鉛筆か黒のボールペンではっきりと書いてください。

1. なぜこのアイデアを思いつきましたか

食料店やコンビニなどでよくアクリルパーテーションなどを改良して、スマホをセットすることによってアクリルパーテーションに大きく画面がうつせたら便利ではないかと思ったこと、まいてある透明なゴム製の板が少ししか法口がった交角柱の箱から出てきて、プログラムになるパソコンなどもあった良いのではないかなど考えたアイデアが合わさるなどしてこのようなアイデアになりました。

目から30cmほど画面を高くすると良いのなら、レンズと反射をうまく使い、目にもやさしく画面も大きい物があればいいなと思ったことなどもアイデアの一つになったと思います。(レンズで大きくすればいいかもしれない)

2. 作品が完成していたら、写真をはってください



3. 作品を実際に作ってみましたか

作りました いま作っている 作っていません

4. アイデアの図を書いてください

スマホが台から滑るのを防ぎ、棒状のパーツを設置し、簡単にスマホを置けるようにした。

テーパー固定し、間に接着剤を流し込む方法などでも固定できるパーツの組み合わせを考えた。

大まかな作り

上から見た図 (スマホカバー部分を拡大したもの)

アクリル板はあえて黒に近い色を使うことにより、明るい場所でも画面が見えやすいように工夫をした。

取り外し、折り畳み可能

折れ目を作るように、ヒモや見かけのように透明なパーツを使って角度をつけおとした。(この作品を作った時に使ったため、角度の微調整がしやすい)

あまったセットのパーツをスチッポーとして使った。

高さが低く画面の死角が取りにくいようにするために、元々の木材のフタを土台として再利用した。

スマホ画面を大きく見せるようにするために、レンズを置いた。だが、死角が増えてしまうため、取り外しできるような工夫をした。

もともとあるスマホカバーの上にうまくのせる。(スマホカバーはあまり使えなくなった物を再利用した。)

スマホ画面を大きく見せるようにするために、レンズを置いた。だが、死角が増えてしまうため、取り外しできるような工夫をした。

5. 上の図の説明を書いてください

この作品はコロナ禍の現在の時代だからこそアクリル板にも一つの使い方はないかと感じました。残念ながらアクリル板の両面に日射にはびまんして工夫は多岐にわたります。

使い方は、人と向き合って食べたりしながら長時間スマホを見るときなどに使えます。(少し木目から画面が見えようになっている)

工夫はアクリル板の色を黒に近い色にすることによって画面が見えやすいようにしたり、レンズでうつす画面を大きくできるが死角が増えてしまうため取り外しできるようにしたりしました。

アクリル板と作品本体は別々にして運ぶためアクリル板の反射防止などを折り畳めるようにしたり、テーパーと接着剤をいっしょに使うことにより、作品の強度をより高くしたり、木材のフタを土台として再利用したりしました。

反射を使ってスマホとの距離を少し離れるため、レンズを使わない状態の場合には少しは目にもやさしくなっています。